

2026 年 7 月 15 日

各位

東京建物株式会社

東京駅直結の大規模複合再開発「TOFROM YAESU TOWER」

2026 年 9 月 10 日（木）開業決定

**創業 100 年を超える老舗や星付きの人気店など、飲食店を中心に 68 店舗が集結する
商業ゾーン「TOFROM YAESU Shop & Restaurant」店舗ラインナップを発表**

東京建物株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員 小澤 克人）が、再開発組合の一員として参画し、権利者の方々や地域の皆様と共に推進する大規模複合再開発「TOFROM YAESU」において、「TOFROM YAESU TOWER（トフロム ヤエス タワー）」の開業日が 2026 年 9 月 10 日（木）に決定しましたので、お知らせします。※1 また、個性豊かな飲食店舗を中心に 68 店舗※2 が集結する商業ゾーン「TOFROM YAESU Shop & Restaurant（トフロム ヤエス ショップアンドレストラン）」の店舗ラインナップもあわせて発表します。



TOFROM YAESU TOWER 外観

「TOFROM YAESU Shop & Restaurant」は、八重洲の老舗や星付きの人気店など、“東京発祥”の飲食店を中心に 68 店舗が集結する商業ゾーンです。「TOFROM YAESU THE FRONT」の地下階から地上 2 階と「TOFROM YAESU TOWER」の地下階から地上 4 階の総面積約 6,000 ㎡の空間において、「個性がつながり、新しきが生まれる」をコンセプトに、八重洲の路地裏文化や町人のにぎわいを現代的に再編集し、東京の“歴史”と“新しさ”が共存する場を提供します。江戸城の城下町として江戸時代から人と物が集まり、活気あふれるまちとして親しまれてきた八重洲。その伝統と多様性を受け継ぎ、歴史ある老舗と新進気鋭の話題店が共存する都市の交流拠点として、誰もが肩の力を抜いて集える空間を目指します。

TOFROM YAESU 公式サイト：<https://tofrom-yaesu.com/>

※1 バスターミナル、劇場・カンファレンス施設、医療施設は先行開業（一部プレオープン）済。

※2 9 月 10 日時点では TOFROM YAESU TOWER 内の 55 店舗が開業予定。TOFROM YAESU TOWER 内の一部店舗および TOFROM YAESU THE FRONT 内の店舗については 2026 年冬以降、順次開業予定。

● 「個性がつながり、新しきが生まれる」八重洲の歴史とにぎわいを現代に再編集

八重洲エリアは、古くから規模や業種の異なる店舗が混在し、各店舗が路地に面して店を構えることで、「多様性」と「界索性」が育まれてきました。「TOFROM YAESU Shop & Restaurant」では「個性がつながり、新しきが生まれる」をコンセプトに、八重洲の路地裏文化や町人のにぎわいを現代的に再編集し、東京の“歴史”と“新しさ”が共存する個性的な店舗が軒を連ねます。「歴史」を体現する店舗としては、創業170年超の伝統割烹「割烹 嶋村」や創業70年超の老舗本格中華「Tai Kou Rou TOKYO」など再開発エリアで古くから愛されてきた老舗が装い新たに再開業します。また、「新しさ」の象徴として、ミシュラン一つ星獲得の天ぷら店「天 よこた」の新店舗「天よこた 明日へ」や、同じくミシュラン一つ星獲得の焼き鳥店「焼鳥 おみ乃」の新店舗「焼鳥 おみ乃 雫」など東京各所の人気店も新たに開業します。地元・八重洲で古くから愛される老舗と、まちをアップデートする魅力的な新店が共存することで、まちを訪れる人々に以前と変わらない居心地の良さを感じていただきながら、ここでしか味わえない価値を新たに提供します。店舗ラインナップの詳細については別紙（<https://tatemono.com/news/20260715-3/shoplist.pdf>）をご参照ください。

多様な個性が集積するまち並みを表現する建築デザイン

八重洲エリアの育んだ歴史を尊重し、本施設では、一般的な商業施設のようにお客様を建物内へ誘引し、館内で回遊させる構造ではなく、多くの店舗を路面側へ配置した外向き中心の施設計画としています。低層部の外観は、外壁に凹凸や隙間を設けて積み上げる「箱積み」デザインとすることで、小規模な建物や路面店が連なる、従来の八重洲らしい風景を立体的に表現しています。



TOFROM YAESU TOWER 低層部イメージ

専門店ゾーン「YAESU 東京界」

「TOFROM YAESU Shop & Restaurant」2階では、12の名店が集まる専門店ゾーン「YAESU 東京界」が誕生します。ミシュラン一つ星獲得の天ぷら店「天よこた」の新店舗「天よこた 明日へ」やビブグルマン掲載実績を持つ「代官山いっさい喝采」など商業施設初出店となる名店が軒を連ねます。八重洲エリアの魅力である路地裏を表現した空間で、東京の情緒を感じる専門店や、知る人ぞ知る名店の味を敷居低く楽しみいただけます。



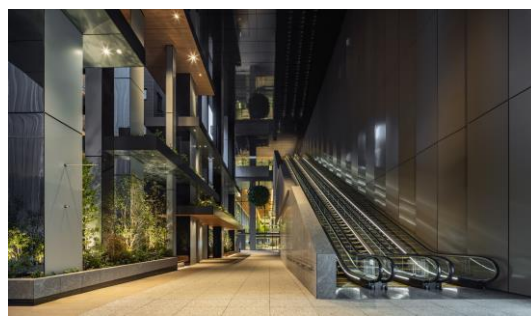
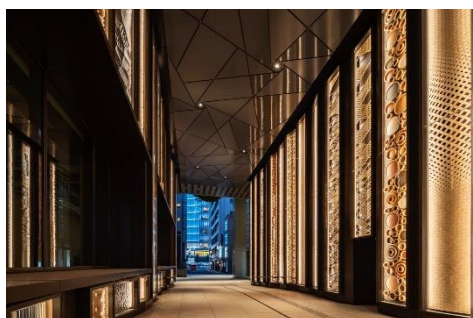
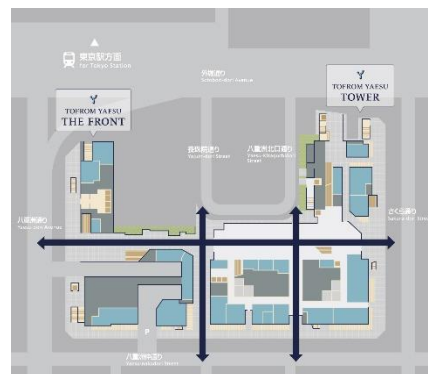
「YAESU 東京界」イメージ



「YAESU 東京界」ロゴ

● まちの回遊性を高め、八重洲の「新旧」を体感する接続通路

施設内には、「八重洲通り」「八重洲仲通り」「外堀通り」「さくら通り」という周辺の主要な4つの通りをスムーズに結ぶ、3本の通路を整備。まちの動線をシームレスにつなぐことで快適な歩行ネットワークを形成し、八重洲エリア全体の自然な回遊と交流を促します。一部の通路は、過去から現代へ続く八重洲エリアの移り変わりが直感的にわかるような空間デザインを施しており、通路を歩み進めるごとに、移り変わるまちの歴史と進化のコントラストを体感できます。

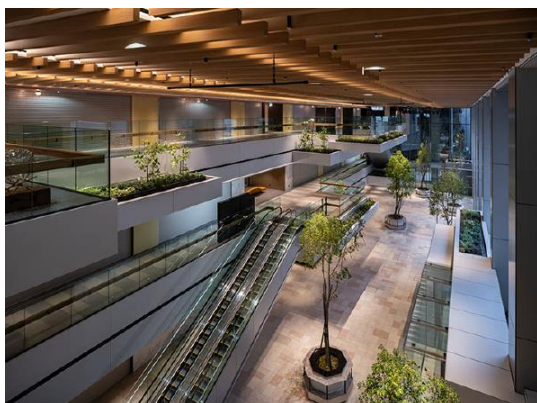


「八重洲通り」「八重洲仲通り」「外堀通り」「さくら通り」を結ぶ3本の接続通路

● まちのにぎわいを創出する広場空間「檜物町スクエア」

施設内には、再開発エリアの旧町名である「檜物町（ひものちょう）」に由来する約 1,200 m²の広場空間「檜物町スクエア」が誕生します。上下階をシームレスにつなぐ象徴的な吹き抜けの空間には高さ約 7m の高木に加え、旧町名にちなみ「檜」を素材に多く取り入れたベンチやテーブルなど可動が可能なオリジナルの家具を配置予定となっており、誰もが思い思いにくつろげる心地よい滞留空間を創出します。

また、「檜物町スクエア」は地域のにぎわい創出に貢献するイベントの会場としての活用も想定しており、各階のステージを立体ギャラリーとすることで3階までの吹き抜け空間全体を巻き込んだ一体感のあるにぎわいを生み出します。1階には、日本三大祭りの一つにも数えられる「山王祭」において地域を巡行する、檜物町の「お神輿」を常設展示し、八重洲の伝統に触れる機会を提供します。



檜物町スクエア



お神輿

● 映画監督・岩井俊二氏のオリジナルストーリーを起点に展開するパブリックアートプロジェクト

公益財団法人彫刻の森芸術文化財団およびクリエイティブアソシエーション CEKAI の共同チームにより、パブリックアートプロジェクト「TOFROM YAESU TOWER ART：人魚の街」を TOFROM YAESU TOWER 内で展開します。映画監督・岩井俊二氏が本施設のために書き下ろした、海外と日本のつながりや八重洲に積み重なる時間を描くオリジナルストーリーを起点に、8組のアーティストが独自の視点で作品を制作し、施設全体をひとつの物語空間として、それぞれの作品を館内の各所に常設展示します。TOFROM YAESU TOWER が掲げる「人・時・場をつなぐ」コンセプトと、映画監督によるストーリー、8組のアーティストが手がけるアート作品の相互作用から生まれる新たなパブリックアート体験を創出し、来街者の回遊を促進します。

「TOFROM YAESU TOWER ART：人魚の街」特設サイト：<https://art.tofrom-yaesu.com/>



岩井俊二氏（映画監督）

公益財団法人
彫刻の森芸術文化財団
CHOKOKU-NO-MORI ART FOUNDATION



● 国際都市東京の玄関口「TOFROM YAESU TOWER」の多様な施設

商業ゾーン「TOFROM YAESU Shop & Restaurant」に加えて、オフィス、医療施設、劇場・カンファレンス施設、バスターミナルなど国際都市東京の玄関口にふさわしい機能を備えます。

バスターミナル東京八重洲 地下 A（2026 年 3 月 20 日開業）

独立行政法人都市再生機構が整備し、京王電鉄バス株式会社が運営する「バスターミナル東京八重洲 地下 A」（第 2 期エリア）。国内最大級※3 の高速バスターミナルとして、地方都市へのアクセス機能が大幅に強化されます。

公式サイト：<https://bt-tokyoyaesu.com/>



バスターミナル東京八重洲（第 2 期エリア）

※3 第 1 期（2022 年 9 月開業済）、第 2 期（2026 年 3 月 20 日開業済）、第 3 期（2029 年開業予定）を合わせると国内最大級（20 バース、約 21,000 m²）の高速バスターミナルとなります。詳細は、独立行政法人都市再生機構および京王電鉄バス株式会社のリリース（https://www.ur-net.go.jp/news/vrj9880000005n0y-att/ur2026_press_0319_tohto.pdf）をご参照ください。

東京建物 ぴあ シアター&カンファレンス

（2026 年 5 月 1 日プレオープン、9 月 9 日オープニングシリーズ開始）

東京駅前初となる約 800 席の段床式劇場・カンファレンス施設。ぴあ株式会社、株式会社コングレが運営し、東京駅周辺エリアで不足していたエンタテインメントを通じた文化発信拠点を整備するとともに、MICE（国際会議、展示会・イベント、講演会、セミナー等の催事）を誘致することで、八重洲エリアのビジネス交流機能のさらなる拡充に取り組めます。

公式サイト：<https://www.yaesu.theater-conference.jp/>



東京建物 ぴあ シアター

日本医科大学八重洲健診ステーション（2026 年 6 月 30 日開業）

学校法人日本医科大学による医療施設「日本医科大学八重洲健診ステーション」が開設され、FDG-PET によるがんの早期発見をはじめとした先進的な予防医療や、日本医科大学付属病院（東京都文京区）の連携による高度医療サービス等を提供します。

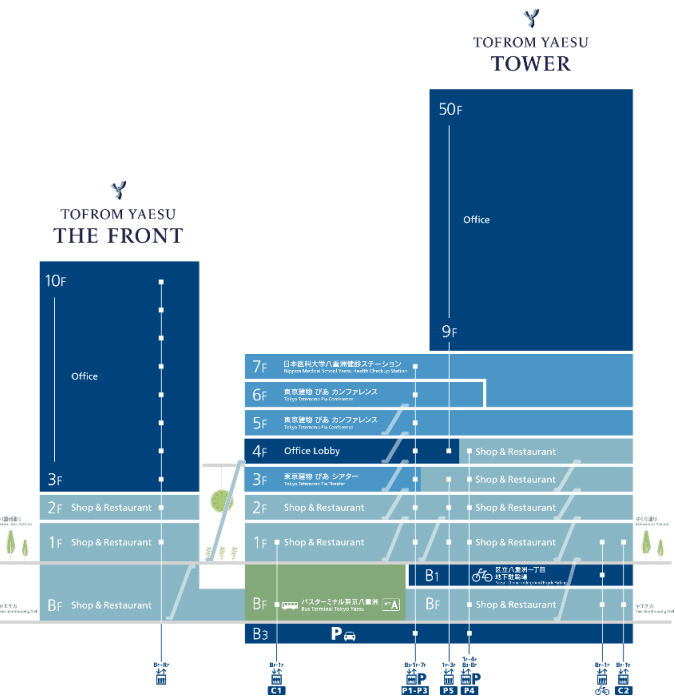
公式サイト：<https://yaesu.nms.ac.jp/>



エントランスイメージ

● 「TOFROM YAESU」施設コンセプト

施設のコンセプトは「人・時・場を“つなぐ”」。ネーミングの「八重洲へ（TO）／八重洲から（FROM）」多様な価値観を“つなげていく”という思いが込められており、ロゴは結び目がモチーフになっています。シンボルマークの 3 本の結び目は八重洲の「Y」を表し、世界中の「ヒト」「モノ」「コト」の 3 つが交じりあう、東京、日本の中心となる存在としての意味合いが込められています。



TOFROM YAESU 外観

● 「TOFROM YAESU」事業概要

TOFROM YAESU THE FRONT

建物名称	TOFROM YAESU THE FRONT（読み：トフロム ヤエス ザ フロント）
施行者	東京駅前八重洲一丁目東 A 地区市街地再開発組合
所在地	東京都中央区八重洲一丁目 9 番 1 号
主要用途	事務所、店舗、診療所
規模	地上 10 階・地下 2 階、高さ約 45m
構造	S 造・RC 造・SRC 造
敷地面積	約 1,280 m ²
延床面積	約 12,220 m ²

設計	基本設計：株式会社日本設計、実施設計：大成建設株式会社一級建築士事務所
施工	大成建設株式会社
工期	着工：2024 年 2 月 1 日、竣工：2026 年 7 月 15 日

TOFROM YAESU TOWER

建物名称	TOFROM YAESU TOWER（読み：トフロム ヤエス タワー）
施行者	東京駅前八重洲一丁目東 B 地区市街地再開発組合
所在地	東京都中央区八重洲一丁目 6 番 1 号
主要用途	事務所、医療施設、劇場・カンファレンス、バスターミナル、店舗、住宅等
規模	地上 51 階・地下 4 階、高さ約 250m
構造	S 造・RC 造・SRC 造・CFT 造
敷地面積	約 10,600 m ²
延床面積	約 225,000 m ²
設計	基本設計：株式会社日本設計、実施設計：株式会社大林組一級建築士事務所
施工	大林・大成建設共同企業体
工期	着工：2021 年 10 月 1 日、竣工：2026 年 2 月 28 日

● 位置図



以上